

埼玉県山岳連盟 埼玉岳連報 47 号

発行者 森下健七郎

発行所 連盟事務所 天野賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

編集人 岩井田正昭

発行数 1600 部

埼玉岳連



国体選手を囲んで祝勝会を開催

巻頭言

埼玉県山岳連盟会長 森下 健七郎

新年、おめでとうございます。

今年度の岳連諸活動も、最終段階に入ります。次年度の岳連体制の準備が始まります。

これまで、岳連活動のベースである〈各委員会での諸事業〉を一つ一つ地道に企画・運営して来た委員会関係者及び参加者の皆様に心より感謝を申し上げます。

24年度は「岳連組織活動の更なる発展の為」に〈財政の再構築提案〉を承認して貰いました。それ等の施策を何とか軌道に載せる事が出来たと安堵しています。皆様のご協力・ご支援、ありがとうございました。そして、執行部・理事会として〈各種の新たな提案と実行〉をして来ました。

25年度は〈自前の岳連カレンダーを〉と言う事で、会員の応募写真によるカレンダーを作成する事により、より身近なカレンダーが作成出来、同時に値下げも実現出来ました。

また、この間の岳連活動のトピックを挙げると・・・

- (1)企画委員会「秩父夏休み・親子自然観察教室」「個人会員制度の発足と運営」(2)自然保護委員会「山岳自然保護の集い・中央大会」主管(3)指導・競技委員会「スポーツクライミング指導者養成講習会」(4)海外委員会「マッキリー-デナリ遠征(鈴木)」「12月ヒマラヤ行(大山)」等(5)選手強化委員会「第69回東京国体〈天皇杯獲得〉」悲願の大快挙を達成！(6)ジュニア・競技委員会「第4回全国高校選抜SC大会」の主管・運営(7)選手強化委員会「彩の国プラチナキッズクライミング体験会」等々・・・

今後とも、皆様の忌憚のない前向きな各種の提案をお願い出来れば幸いです。

岳連報 47 号目次

- 1 p : 巻頭言
- 2 p : 埼玉県国体選手団 祝勝会
- 3 p : 平成 26 年 参与会/新春懇談会
- 4 p : 12 月常任理事会報告
- 5 p : 1 月理事会報告
- 6 p : 第 4 回全国高校生選抜 C 選手権大会
- 7 p : 遭対講習会報告/海外登山報告会
- 8 p : 「投稿」冬山講習会/ヒカビーク登山報告
- 9 p : ローツェ 2014 登山計画・県内選手サルト
- 10 p : 参与会名簿・編集後書
- 10 p-12 p 広告

埼玉県国体選手団 祝勝会

『スポーツ祭東京 2013』山岳競技
天皇杯 優勝 皇后杯 第 5 位



宇津木総監督から選手監督の紹介

秋深まる 11 月 20 日大宮「スクエア」において第 68 回東京国体『スポーツ祭東京 2013』の埼玉県選手団祝勝会が多数の参加により開催されました。

天皇杯一位、皇后杯五位の好成績に参加者から熱い拍手が送られ冒頭挨拶の森下会長は「今回 68 回東京国体において悲願の天皇杯を獲得しました。今回の天皇杯は 2004 年埼玉で行われた埼玉国体以来実に 9 年ぶりとなる快挙であります。今回は主管大会ではない東京国体での〈天皇杯を獲得〉と言う事できりわけ大きな快挙と思っており、関係者一同大変喜んでおります。今回の快挙の主役である、選手監督の皆様に対しその栄誉を讃え『おめでとう』そして『ありがとう』と申し上げます。

又、今回の快挙に引き続き来年度は、是永選手は成年男子、尾上選手は成年女子の選手として出場してくれる事を期待し、皆様のこれからのご支援とご指導を戴きながら埼玉のクライミングが全国にさらに響き渡るように頑張りたいと願っています」と述べました。来賓挨拶を三戸一嘉・埼玉体育協会副会長及び柳川典昭・スポーツ振興課副課長から戴きました。来賓紹介の後、選手・監督の紹介を宇津木総

監督から行い、門間希美・元少女監督から花束贈呈があり彩を添えました。新井宏・加須市役所生涯学習部長の乾杯により歓談となりました。歓談途中に祝電、メッセージの紹介が行われ宴たけなわの中、突然に村岡前理事長からサプライズの大きなハルーンメッセージが選手宛てに宅急便で届けられ大いに盛り上がりました。各選手から自己紹介を兼ねて国体に向けた抱負を聞かせていただきました。大盛会のうちお開きとなり祝勝会は終了しました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

国体祝勝会 出席者 敬称略

選手・監督

- 宇津木秀二 総監督 ・高体連
- 小茂田利孝 成年男子監督・遠峰山岳会
- 内海 信 少年男子監督・高体連
- 岡野 次男 少年女子監督・高体連
- 是永敬一郎 少年男子選手・京北高校
- 波田 悠貴 少年男子選手・久喜工業高校
- 尾上 彩 少年女子選手・埼玉岳連
- 坂井 絢音 少年女子選手・埼玉岳連

ご来賓

- 三戸 一嘉 公益財団法人 埼玉県体育協会
副会長兼専務理事
- 柳川 典昭 埼玉県教育局 市町村支援部
スポーツ振興課 副課長
- 遠井 学 埼玉県教育局 市町村支援部
スポーツ振興課
- 新井 宏 加須市役所 生涯学習部長(市長代理)
- 大久保晴美 公益社団法人 日本山岳会埼玉支部長
- 野本 政之 加須市 元国体推進課長

県山岳連盟

- 山口 定男 参 与 ・我逢人 信越山の会
- 森下健七郎 会 長 ・高体連
- 福田 靖 副会長 ・たらっぺ山の会
- 古峰 孝 副会長 ・加須スポーツクライミングクラブ
- 天野 賢一 理事長 ・遠峰山岳会
- 瀬藤 武 副理事長/遭対委員長
・浦和溪稜山岳会

- 加藤 富之 事務局長 ・深谷山岳会
- 岩井田正昭 広報委員長・川越山の会五十雀
- 土屋 正昭 競技委員長・加須クライミングクラブ/ヒカビーク
- 鈴木百合子 海外登山委員長・無名山塾
- 長谷川 茂 企画委員長・熊谷山岳会
- 佐藤 豊 MAS
- 道浦 陽司 加須スポーツクライミングクラブ
- 大野 文雄 山学同人比企
- 高岡 正彦 高体連
- 横内 鉄郎 アルパインクラブ/山遊人
- 門間 希美 加須スポーツクライミングクラブ
- 東家 友也 遠峰山岳会

平成 26 年 参与会 (敬省略)

平成 26 年 1 月 25 日 13:30～大宮 ICI スポーツ会議室
 参与会の席上、平成 25 年度における事業報告(国体祝勝会、第 4 回全国高等学校選抜 C 大会、ブライキッズ講習会、第 2 回秩父夏休み親子自然観察会、山岳自然保護の集い等)及び収支関係(会費値上げ、会員カード発行、カンパ作成販売、参与会、個人会員制度の立上等)により収支改善に寄与することが出来たことを報告した。その他、映像による事業の報告(上記の内、東京国体、秩父親子自然観察会、第 4 回全国高校生選抜 C 大会など)、今後の課題として 2015 年の 60 周年記念式典開催や関東ブロック開催について今後の動向を説明しました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

平成 26 年 新春懇談会 (敬省略)

平成 26 年 1 月 25 日 15:00～大宮・庄屋



参与会の終了後に新春懇談会を大宮にて開催。

例年は国体選手(成男、成女、少男、少女)も参加戴く予定でしたが会場の都合で成人以上に参加お願ひし、新井 宏・加須市生涯学習部長を始め成男監督、少男監督、少女監督他多数のご参加により新春の懇談会を開きました。

森下会長から新年の挨拶を始め田中名誉会長の挨拶の後、天野理事長から招待者のご紹介などがあり参与会を代表して亀田参与から乾杯の発声により懇談会が開会。会場は映像紹介するスペースが無いため今回は無し。宴たけなわの中、恒例の手締めで新春懇談会は終了しました。

広報・岩井田正昭

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

参加者ご芳名 (敬省略・順不同)

- 新井 宏 ・加須市生涯学習部長
- 小茂田利孝 ・68 国体成男監督
- 内海 信 ・68 国体少男監督
- 岡野 次男 ・68 国体少女監督

- * 恵 秀彦 ・遭対講習会講師/
日山協・遭対常任/参与
- 木村 茂男 ・ICI 石井スポーツ大宮店長
- * 田中 文男 ・名誉会長
- * 新井 宏司 ・参与
- * 亀田 泰二 ・参与
- * 内野 安登 ・参与
- * 山口 定男 ・参与
- * 三ツ木達男 ・参与
- * 斎藤 勝男 ・参与
- 岩崎 元郎 ・無名山塾 主宰
- * 森下健七郎 ・会 長
- * 石倉 昭一 ・副会長
- * 古峰 孝 ・副会長
- * 天野 賢一 ・理事長
- 瀬藤 武 ・副理事長/遭対委員長
- * 加藤 富之 ・事務局長
- 野村 善弥 ・指導委員長
- 岩崎 繁夫 ・自然保護委員長
- 鈴木百合子 ・海外登山委員長
- * 岩井田正昭 ・広報委員長
- * 長谷川 茂 ・企画委員長/個人会員委員長
- 相沢 重夫 , 川口市登山同好会/代表
- 柴崎 英保 ・川口市登山同好会/理事
- 増田 修 ・川口市登山同好会
- 千葉 弓子 ・川口市登山同好会
- 山口 新二 ・UD・A・C/理事
- 原 卓也 ・大宮アルパインクラブ/副会長
- 小高 英雄 ・熊谷アルパインクラブ/代表
- 岡野 敏 ・蓮田山岳会/代表
- 熊谷 潔 ・蓮田山岳会
- 板橋 秀吉 ・蓮田山岳会
- 柳原 政一 ・小鹿野山岳/代表
- 風間 進 ・浦和溪棧山岳会/代表
- 林 哲也 ・防衛医大山岳同好会
- 阪本 愛美 ・防衛医大山岳同好会
- 大山 光一 ・山学同人比企/代表

*印=参与会出席者

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

[下記の皆様から過分なご芳志を戴きました]
 厚く御礼申し上げます、有難うございました。

- | | |
|------------|-------|
| 県岳連名誉会長 | 田中 文男 |
| 雲取山荘 | 新井信太郎 |
| 加須市生涯学習部長 | 新井 宏 |
| 小鹿野山岳会 会長 | 柳原 政一 |
| 天神平星の観察会がっ | 齋藤 次江 |
| 県岳連会長 | 森下健七郎 |
| 川口登山同好会 | 亀田 泰二 |

平成 25 年 12 月常任理事会 報告

12 月 11 日(水)午後 7 時 30 分~北本市中央公民館

出席 森下会長、石倉、古峰副会長、天野理事長、土屋(競技)、鈴木(海外)、大石(シニア)、岩井田(広報)、長谷川(企画)、加藤事務局長、塩谷事務局
欠席 福田副会長、瀬藤(副理事長/遭対)、宇津木(強化)、岩崎(自然)、野村(指導) 略() 常任

1 開会挨拶(石倉副会長) 略

2 会長挨拶(森下会長) 略

3 報告

- ①11/16-17 冬山遭難防止研修・講習会
約 30 名参加スポーツ研修センター
- ②11/17 関東地区スポーツクライミング競技会
計 50 名参加群馬県太田市・木
- ③11/20 国体選手祝勝会さいたま市
詳細は別稿「国体祝賀会報告」を参照
- ④12/ 7 海外登山報告会 講師:北村誠一氏(栃木)他
15 名参加大宮 ICI 石井 3 階
- ⑤12/ 8 コバトクライミングカップ(ロープ部門)
95 名参加加須市民体育館

4 協議

- (1)第 4 回全国高等学校クライミング選抜選手権大会(12/22-23)について
・役員等別紙参照一部入れ替え有り前日・打合会
- (2)平成 25 年度「参与会」の開催について
・日時:1 月 26 日(日)午後 1:30~ 大宮 ICI 石井 3 階
・参加者:参与会員、会長、副会長、理事長他各委員長等
・内容:①趣旨説明②県岳連の現状報告(事業と財政)
③質疑応答・意見交換④その他
- (3)平成 26 年県岳連盟新春懇談会の開催について
・日時:1 月 26 日(日)午後 3:00~ 大宮・庄屋
- (4)第 70 回国民体育大会関東地区ブロック大会(埼玉県開催)における山岳競技の会場及び会場について
- (5)2014 埼玉県山岳連盟カレンダーの販売促進について
- (6)日本山岳会埼玉支部第 9 回安全登山講演会の名義後援依頼について
- (7)平成 25 年度競技部ブロック別研修会について
宇都宮市城山区区民センター
- (8)関東地区山岳連盟連絡協議会の開催について
- (9)登山月報広報専任委員の選出について(日山協)
- (10)平成 25 年日山協表彰の推薦について
○「岳人の家」について。
○第 14 回加須市ポルタリング大会
(主催:加須市山岳連盟)・平成 26 年 1 月 12 日(日)
○会員証の販売枚数について。
○日山協の負担金の実情について
○遭対関係 6/10 に棒ノ嶺遭難事故発見されました。

5 各部からの報告等

①指導委員会

11/9,10 スポーツクライミング指導員養成講習会
8 名参加(埼玉は、門間、樋山の 2 名)加須
平成 26 年度指導員、上級指導員養成講習会の受講
希望アンケート締切 ※自主開催の予定。

②競技委員会

- 11/17 関東地区スポーツクライミング競技会 ※別稿
- 12/8 コバトクライミングカップ(ロープ部門) ※別稿
- ③選手強化委員会
●11/17 関東地区スポーツクライミング競技会 ※別稿
・選手派遣:渡邊海人・加藤亮央・加藤悠生・神田慎・金子桃香・本間大晴・奥墨鴻太・曾我綾乃
○2014 クライミング日本選手権「マートカップ」

1/4-5 東久留米スポーツセンター
・選手派遣:是永敬一郎・波田悠貴・尾上彩・坂井絢音
○平成 25 年度「彩の国プラチナキッズ・競技団体体験教室」の実施について

④遭難対策委員会

- 11/16-17 平成 25 年度冬山遭難防止研修・講習会
スポーツ研修センター ※別稿・研修会報告参照
- 1/24-26 日山協山岳レスキュー講習会 土合山の家
- ⑤自然保護委員会
●11/22-23 関東地区自然保護委員交流会
計 30 人参加神奈川県丹沢登山センター他

- 1/18 関東ブロックの自然保護指導員研修会
- 2/末又は 3/初 自然保護委員会専任委員会

⑥海外登山委員会

- 12/3 日山協・第 27 回海外登山女性懇談会
鈴木委員長報告他計 53 名参加青少年センター
- 12/7 海外登山報告会・他 ICI 石井 3 F
- 2/15~16 日山協・第 52 回海外登山技術研究会
オリンピック記念青少年センター

⑦シニア委員会

- 11/20 冬山机上講習会

⑧広報委員会

- 1/下旬第 47 号発行

⑨企画委員会

●第 2 回秩父夏休み親子自然観察教室報告書・DVD
の作成報告、来年は「親子キャンプ」等に名前変更の予定。

⑩個人会員委員会

- 11/17・日第 2 回交流登山 &安全登山講習会 中止

⑪事務局

- 日山協公認審判員、ルートセンター登録及び資格更新手続きについて
- 12/14 新井宏司参与:平成 25 年度日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰事業・受賞者として決定。

6 閉会挨拶(古峰副会長) 略

平成 26 年 1 月理事会 報告

1 月 8 日(水)午後 7 時 30 分~北本市中央公民館

0 出席 森下会長、石倉、古峰副会長、天野理事長、野村(指導)、宇津木(強化)、大石(シニア)、岩井田(広報)、加藤事務局長、()委員長、柴崎 [川口]、吉田 [JR]、岡野 [蓮田]、小高 [アルム]、石井 [壁稜]、岩本 [エー]、小茂田 [高体連]、道浦 [加須 scc]、柳原 [小鹿野]、田中 [岳稜]、大山 [比企]、伊藤 [防衛]、[] 理事 計 21 名

1 開会挨拶 (石倉副会長) 略

2 会長挨拶 (森下会長) 略

3 報告

- ①12/7 海外登山報告会 講師:北村誠一氏(栃木)、鈴木(百)委員長 計 15 名参加 大宮 ICI
- ②12/8 コパトククライミングカップ(ロープ部門) 計 95 名参加 加須市民体育館
- ③12/22-23 第 4 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 加須市民体育館
- ④1/4-5 2014 クライミング日本選手権「マムトカップ」 東久留米スポーツセンター

4 協議

- (1)平成 25 年度「参加会」の開催について
- (2)平成 26 年 県岳連新春懇談会の開催について
- (3)日山協「競技部ブロック別研修会」の開催について
- (4)平成 25 年度関東地区山岳連盟総会について
- (5)「彩の国ブロック・競技団体体験教室」の開催について
- (6)2014 埼玉県山岳連盟カレンダーの販売促進について
- (7)第 70 回国民体育大会関東地区ブロック大会(埼玉県開催)における山岳競技の会場地について
- (8)日本山岳会埼玉支部第 9 回安全登山講演会の名義後援依頼について(済み)
- (9)蕨市山岳連盟(未加盟)「安全登山を考える講演会」の名義後援依頼について
- (10)平成 25 年日山協表彰の推薦について
- (11)平成 25 年埼玉県体育功労賞の推薦について
- (12)平成 26 年度評議員総会に向けて
 - ★第 8 回「田中名誉会長賞」の推薦について
- (13)その他
 - ①第 14 回加須市ホルダリング大会(主催:加須市岳連)・日時:平成 26 年 1 月 12 日(日)加須市民体育館
 - ②埼玉県リーダーズバンクからの問い合わせ等
 - ③会員証の販売枚数の現状
 - ④日山協の負担金の実情
 - ⑤「6 月 10 日棒ノ嶺遭難事故」の件は発見されました。
 - ⑥「2014 年都岳連新春の集い」1/25 東京グランドホテル
 - ⑦「岳人の家」について
 - ⑧大宮アルパインクラブ 大源太山遭難事故について

⑨「彩の国ブロック登山隊 2014」後援承認。
隊長:風間 進 隊員:大山 光一

5 各部からの報告等

①指導委員会

☆平成 26 年度指導員、上級指導員養成講習会

②競技委員会

- 12/8 コパトククライミングカップ(県体)計 95 名参加 加須
- 1/18-19 日山協「競技部ブロック別研修会」宇都宮市城山区民センター・栃木県教育会館

③選手強化委員会

- 2014 クライミング日本選手権「マムトカップ」
- 1/15 第 3 回選手強化対策委員会 スポーツ総合センター
- 1/26,2/2 平成 25 年度「彩の国ブロックナキッス・競技団体体験教室」ロックラフト川越
- 2/22-23 ホルダリングシニアカップ 静岡市:クライミング JAM
- 3/22-23 クライミングユース選手権大会 印西

④遭難対策委員会

- 1/24-26 日山協山岳レスキュー講習会(積雪期・東部地区)
- 3/1-2 積雪期緊急避難講習会(指導部と共催)

⑤自然保護委員会

- 1/18 第 4 回平成 25 年度自然保護指導員研修会・公開講演(都岳連)リハビリック記念青少年センター
- 2/22 自然保護委員会役員会 神奈川県スポーツセンター
- 2/22-23 山の自然セミナー(関東ブロックの自然保護指導員研修会) 神奈川県スポーツセンター

⑥海外登山委員会

- 12/3 日山協・第 27 回海外登山女性懇談会 鈴木委員長報告他 計 53 名参加 青少年センター
- 12/7 海外登山報告会(栃木 K2 登山報告、マッキンリー報告他)&忘年会 15:00~大宮 ICI 石井 3F
- 2/15~16 日山協・第 52 回海外登山技術研究会 リハビリック記念青少年センター

⑦シニア委員会

- 1/25~27 高体連指導者講習会 八ヶ岳:赤岳鉱泉
- 2/8-10 県新人大会(雪の山を歩く) 土湯峠雪洞泊
- 2/15・日山協「平成 25 年度シニア・普及情報交流会」リハビリック記念青少年センター

⑧広報委員会

○1/下旬 第 47 号発行

⑨企画委員会

⑩個人会員委員会

⑪事務局

- 新井宏司参与:平成 25 年度日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰事業・受賞者として決定。12/14 表彰式。
- 日山協公認審判員、ルートセッターの登録及び資格更新手続きについて

6.閉会挨拶 (古峰副会長) 略

第4回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

平成25年12月22日-23日

加須市民体育館：クライミングウォール
加須市民体育館において第4回全国高等学校選抜クライミング選手権大会（主催：日本山岳協会・全国高等学校体育連盟・加須市・加須市教育委員会，特別協賛：三井住友海上火災保険株式会社）が，平成25年12月22日（土），23日（日）で開催された。38都道府県より男子37県60校92名，女子34県51校76名，計168名の選手が出場。

初日の予選はフライングで2つのルートを登る。男子が12bと12d，女子が11d/12aと11c/dで，観客席でライバルの登りを観戦しながらの大会進行。2ルートとも完登した選手は男子6名，女子11名で，男女各26名が翌日の準決勝へ。

2日目からはワザト。男子が13a，女子が12cの設定。完登は男女とも2名ずつ。決勝進出は男子は8名，女子は同順位により10名。

午後，女子，男子の順で決勝。女子決勝では，12dの壁に挑む。タイム差を気にしたあまりに次々とフォールした昨年の反省からか，どの選手も3分から4分前半の落ち着いた登りだったが，完登は優勝した小武芽生選手（北星学園女子・北海道）。埼玉では5位に坂井絢音（山村学園・埼玉）が入った。男子決勝は13bの壁で，完登者は無し。島谷尚季（幕張総合・千葉）が大会初の連覇。埼玉からは波田悠貴（久喜工業）が健闘し4位。参加各校上位2名で競う学校対抗では，久喜工業が男子3位に食込む健闘を見せた。

ジュニア委員長 大石 智章



決勝進出で期待された埼玉県：坂井選手（左から3人目）、波田選手（右から2人目）

リザルト詳細は日山協HPを参照ください
<http://www.jma-sangaku.or.jp/>

- 個人男子 4位 波田 悠貴（久喜工業）
- 個人女子 5位 坂井 絢音（山村学園）
- 団体男子 3位 久喜工業（埼玉）
- 団体男子 8位 上尾南（埼玉）

※当誌クライミングリザルトにも掲載



波田悠貴選手



坂井絢音選手



個人男子 第4位 波田選手



個人女子 第5位 坂井選手



©kobaton

冬山遭難防止研修・講習会

遭難対策委員会

11 月 16 日～17 日 埼玉スポーツ研修センター



冬山遭難防止研修・講習会参加

2 日間に渡る冬山遭難防止研修・講習会は 20 数名の参加者により上尾スポーツ研にて開催されました。

初日は「山岳における救急医療講習」をテーマに 恵 秀彦講師からポイントによる「山のファーストエイド」解説があり、ファーストエイドの順序、特殊な状況下での CPR(心肺蘇生法)、外傷の応急処置法、評価の方法などの説明、応急処置などの実技を交えて密度の高い講習が行われた。

2 日目は恒例の埼玉県警山岳救助隊・飯田副隊長による平成 25 年(1 月～11 月)の遭難事例の中から特異な事故例の解説をして戴いた。飯田副隊長から近年の遭難特徴を以下のように指摘されていた。

- ①遭難発生件数増加 (23 年/39 件⇒24 年/45 件)
- ②中高年登山者(40 歳以上)遭難件数(全体の 6 割)
- ③携帯による救助要請が増加(37 件が携帯)
- ④行方不明者の多発(6 件) 他。



テープスリングを使って簡易ハネ装着実技

午後からはクラス別講習を行い、初級クラスは縦走路での搬送方法について実習(研修:鈴木、松本、岩井田)シートによる搬送、雨具(ウェア)利用の背負搬送、ザック利用した担架搬送など、上級クラスは瀬藤講師の指導で登攀中のレスキュー技術ロープワーク実技などを行った。
主任講師:瀬藤 武(浦和溪稜山岳会)
研修(アシスタント):鈴木百合子、松本 善行(無名山塾)、岩井田正昭(川越山の会・五十雀)

海外登山報告会

海外登山委員会

12 月 7 日 ICI 石井スポーツ大宮店・3F 会議室

報告 1:マッキリー遠征 海外登山委員長・鈴木百合子

2013 無名山塾登山隊遠征登山隊・隊長

報告 2:カラコルム・K2 登山&最近のパキスタン情勢

栃木ヒマラヤ研究会・K2 登山隊長・北村 誠一

参加者:天野 賢一、飯塚 誠一、今雪 雅夫、内野 安登、大山 光一、岡野 次男、加藤 富之、鳥 辰克、風間 進、小茂田利孝、鈴木 直樹、福田 靖、山際登志夫、岩井田正昭、大宮 求(日山協海外)、(敬省略順不同)

海外登山報告会 2013

今年の海外登山報告会は、海外登山委員会メンバーを中心に開催。報告 1 は、海外登山委員長の鈴木百合子氏。今春、無名山塾登山隊の隊長として、会員 3 名でマッキリー遠征に出かけ、見事全員登頂を果たした。デナリ国立公園のレンジャーによって、かなり管理された登山となったが、その中で天候を味方につけての全員登頂。出発から帰国までの細かな点まで報告していただき、今後マッキリーへ行こうという人の為に、大変参考になる報告となった。

報告 2 は、栃木ヒマラヤ研究会の北村誠一氏。今夏の K2 遠征は、氏が 1999 年に栃木県山岳連盟海外登山委員長になったときからの計画。栃木県岳連としての遠征隊とはならなかったが、思いを同じにする仲間と挑んだ K2 峰。同時期、ナガパルハットの BC では 11 人が射殺された事件が発生。K2 に一番乗りしてルートを開いたものの、悪天に阻まれ残念ながら敗退。なかなか語れない組織としての海外登山の難しさや自身の海外登山への思いなど、熱く語っていただきました。

〈加藤事務局長・記〉



講師を務めた北村誠一氏(中)、鈴木委員長(右)

積雪期登山講習会・指導員研修会

指導委員会

H26 年 1 月 18 日-19 日 那須岳



講習会/研修会 参加者
写真提供 あゆむ山の会/秋庭 栄

感想文投稿

積雪期登山講習会を受講して学んだこと

防衛医大 3 年 山田菜恵子

私は大学 1 年生の頃、夏山中心の登山をしたいと思って防衛医大山岳同好会に入部しました。当時、雪山に登ることは全く考えていませんでした。というのも、雪山は夏山に比べて断然危険度が増すと思っていたからです。また、きちんとした装備をそろえるための資金がなかったということもありました。しかし、1 年、2 年と山岳同好会の活動に参加してゆくうちに、先輩や後輩から雪山に行ってきた話を聞いたり、雪山の美しい写真をたくさん見る機会を得たりするうちに、夏山にはない景色や環境に次第に興味が出てきました。そして、「雪山に行ってみよう」という気持ちが強くなってきたちょうどその折に、この講習会のことを知り、受講するに至りました。

さて、以下に今回の講習会で学んだことを少々紹介いたします。ロープを使って安全に山に登るためには、強固な支点が必要になります。まずは雪の斜面での支点作りを体験しました。土嚢袋に雪を詰めリングを中央に巻き、スコップで掘った穴に落とします。谷側にピッケルで溝を掘りそこにリングを入れます。特に注意すべき点は、①深く掘る②谷側の壁を壊さない③溝はリングの高さまで掘る、の 3 点だと思います。次にロープ手技として、8 の字結び、半固定、プルジック、マッシャー、半マストなどを駆使してスタンディング・アックス・ビレイと自己脱出法を学びました。屋内練習とは違い、オーバーヒトを装着した上での作業は遅々として進みませんでした。また、同じ結び方でも名称が複数あることを知らなかった私は、教えてもらっている最中も焦るばかりでした。それでも、今回の講習会を経て、改めてロープ手技の大切さを感じました。そして学んだことを復

習して自分自身はもちろん、これから山を始める後輩たちにも教えてゆけるよう精進してゆきたいと思っています。

最後にお世話になりました講習会の講師の方々に御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

ピサング(6091m)登頂

山学同人比企 大山 光一(海外登山委員)
2013/12/13~12/29



ピサング[PisangPeak] 遠望

2013 年 12 月 22 日、BC から約 5 時間余り、風が冷たいが、対岸にアンナプルナ II (7939m) をはじめとするアンナプルナ群の雄姿を眺めながら登って来た。高度障害の影響もなく、ランチタイムを取りながら、ピサングのハイキャンプ(5050m)に到着した。12 月 23 日、午前 2 時の出発を強風のために 1 時間遅らせたが、厳しい寒気が襲ってきた。二人のシェルパとともにヘッドランプの灯りを頼りに急峻な斜面を登るが、不安定な岩場は神経を使う。稜線に出て、アゼンを装着した。雪と岩のミックスした斜面にフィックスロープを張りながら、幾つかの浅いピークを越えながら高度を稼ぐ。核心部は、技術的な難しさではなく、不安定な岩場をいかに安全に登攀するかという神経を使う場面が幾度かあった。最後の岩場を越えると、雪稜が現れた。その先には古いフィックスロープが雪中に埋められていた。そこから約 20 分余り、急峻な雪稜を辿る。11 時 20 分、ピサング(6091m)に登頂。



核心部の岩場・上部は頂上に繋がる雪稜

事務局便り



《彩の国ロープ登山隊2014》遠征計画

隊名：彩の国ロープ登山隊2014
 後援：埼玉県山岳連盟
 目的：①ロープ8,516mの全員登頂
 ②ヒマラヤ8000m峰登山タケイクスの計画実践
 ③ヒマラヤ高所登山における環境問題調査
 (地球温暖化による氷河後退・地球変化など)
 期間：平成25年4月11日～6月6日
 (日本出発から帰国まで57日間、予備日10日)
 構成：登山隊長 風間進 66歳 浦和溪稜山岳会
 隊員 大山光一 64歳 山学同人比企
 留守連絡先 岩井田正昭 県岳連/広報

行動予定概要

4/11 羽田発24:20 ～カトマンス
 4/12～25 キャラバン・高所順応 26 エベレストBC
 4/27～5/11 BC～C1～C2～BC 高所順応
 5/15～5/30 《アタック期間》予備日10日
 C1～C2～C3～C4～登頂～BC
 5/31 BC～デインボチェ
 6/1～6/5 デインボチェ～バンコク
 6/6 バンコク～成田着 06:20



日本体育協会・公認スポーツ指導者表彰

さる平成25年12月14日(土)TKPカゲンシティ品川に於いて「平成25年度公認スポーツ指導者全国研修会」の席上、県岳連参与・新井宏司氏が『公認スポーツ指導者等表彰』により表彰されました。

永年にわたりスポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰するものです。

受賞おめでとうございます。



【第4回日本山岳遺産サミット】報告

2013年10月23日 時事通信ホール

第1部：日本山岳遺産基金 活動報告
 各認定団体の活動紹介
 第2部：特別講演 田部井淳子「東北の高校生と日本一の富士山に登って」
 ※詳細は日本山岳遺産基金 HP
<http://sangakuisan.yamakei.co.jp/>参照ください

埼玉県岳連からは風間進、塩谷壽子、岩井田正昭が参加、主催者側から田中名誉会長がアドバイザーとして講評されました。

【幸手山岳会】退会のお知らせ

昭和32年(1957)11月に創立された幸手山岳会(会長永沼勇氏)が平成25年10月に県岳連から退会しました。一時は会員数60余名を誇る古参の山岳会が会員の高齢化や会員数の減少などの要因で今回退会した。幸手地域に密着した低山ハイキングや富士登山、尾瀬、日光戦場ヶ原などの市民ハイキングを実施してました。 記 広報・岩井田

10月～26年1月 リザルト

《コハトロープクライミングカップ2013》 県体1位～3位

2013/12/8 加須市民体育館 国体クライミングウォール	リード キッズ	総合 4位	県体1位	鈴鹿 凜
		総合 6位	県体2位	池田 大翔
		総合 7位	県体3位	牧田 空
リード ヒギナー	総合 2位	県体1位	平岡 寛仁	
	総合 3位	県体2位	榎本 航生	
	総合 4位	県体3位	倉持 大成	
リード ジュニア	総合 3位	県体1位	鶴 隼人	
	総合 14位	県体2位	須見 真純	
	総合 18位	県体3位	渡辺 綱	
リード ミドル	総合 1位	県体1位	曾我 綾乃	
	総合 3位	県体2位	小滝 岳人	
	総合 4位	県体3位	中村 颯斗	
リード トップロープ	総合 1位	県体1位	菊池 弘明	
	総合 2位	県体2位	渡辺勝也	
	総合 3位	県体3位	浦 和樹	

《第4回全国高等学校選抜クライミング選手権大会》

2013/12/12-13 加須市民体育館 国体クライミングウォール

リード 女子	第 5位	坂井 絢音	山村学園
	第36位	小池 芽生	上尾南
	第45位	木村明日香	上尾南
リード 男子	第 4位	波田 悠貴	久喜工業
	第 9位	渡邊 海人	伊奈学園総合
	第29位	神田 慎	久喜工業
	第44位	中村 元	浦和西
男子リード	学校別	第3位	久喜工業(波田+神田)
女子リード	学校別	第8位	上尾南(小池+木村)

《2014クライミング日本選手権 マットカップ》

2014/1/4-5 東久留米スポーツセンター クライミングウォール

リード 男子	第 6位	是永敬一郎	埼玉
	第15位	波田 悠貴	埼玉
	第24位	渡邊 海人	埼玉
	第36位	松岡 準弥	埼玉
リード 女子	第 3位	尾上 彩	埼玉
	第15位	曾我 綾乃	埼玉
	第19位	坂井 絢音	埼玉
パラ リード	第10位	加藤 直樹	埼玉

埼玉県山岳連盟参与会名簿 敬称略 h25 年 12 月現在

- 名誉顧問 : 浅見 豊 [恵流峰会]
- 名誉会長 : 田中 文男 [浦和山岳会]
- 参与 : 新井 宏司 [奥武蔵WV]
- 参与 : 武井 正男 [深谷山岳会]
- 参与 : 中田 弘
- 参与 : 柳下 明男 [山岳同人埼玉]
- 参与 : 山口 定男 [我逢人信越山の会]
- 参与 : 大野 好司
- 参与 : 平沼 伸一 [小川山の会]
- 参与 : 亀田 泰二 [川口市登山同好会]
- 参与 : 三ツ木達男
- 参与 : 内野 安登 [エコー山の会]
- 参与 : 恵 秀彦 [元獨協大山岳部
・個人会員]
- 参与 : 斉藤 勝男

ジュニア委員会

2/15 日山協/平成25年度ジュニア・普及情報交換会

事務局

2/12 常任理事会

3/12 理事会

3/31 日山協公認審判員、ルートセッター登録及び
資格更新手続きの締切

編集後書

昨年にて退会した「吉田山岳会」に続いて今回「幸手山岳会」が退会することになった。両会共、地域に密着した創立50年以上の古参山岳会で埼玉県岳連史に名を残し退会されたのは非常に残念。長年のご功績、ご活躍に感謝いたします。

先日、ひさしぶりに秩父のハイキングコースへ冬山ハイク講習会の下見に会員と登ってきた、当てにしていた雪も全くなく拍子抜け。それでも谷筋は氷柱祭りのため夜間に小滝を氷結させライトアップし、観光客を集めて人気となっているらしい。そのために沢筋のトレーニング予定の下降ルートが氷柱祭りのため通行止め。やむなく本番の講習会は枯葉の山道をさけてアゲワークか。

専門委員会・計画 [26年2月～3月]

遭難対策委員会

3/1-3/2 積雪期緊急避難講習会 谷川岳土合

自然保護委員会

2/22-23 山の自然セミナー 神奈川県スポーツセンター

海外登山委員会

2/15-16 日山協/第52回海外登山技術研究会 札幌

取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートビレイシステム
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と
ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5
Tel:042-980-5650 Fax:042-971-6780
URL: <http://pyramide-japan.com/>
Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ

革にこだわる

長期縦走3シーズンの決定版!

メーカーに別注、約3年ぶりに **限定モデル** として復刻。

MOUNTAIN



復刻
モデル

MADE IN ITALY



Dolomiti
Val di Fiemme



ラバーバンド

幅広のサイドラバーを全周させ、補強。ハードなロングトレイルにも対応。



マイクロボラスミッドソール

2種類の密度の異なる組み合わせのソールは、クッション性・耐久性に優れ、軽量化にもなっています。



高品質フルグレイン・ヌバックレザー2.6mm

イタリアの高品質で堅牢なフルグレイン・ヌバックレザーを惜しみなく使い履き込み程に味が出る革本来の良さ。



V字カットアングルパット

足首の保護と歩きやすさを両立。下りなどでもアキレス腱にかかる負担を軽減。



GORE-TEX®

防水透湿性に優れたゴアテックス®をライニングし、濡れやムレを解消。全天候快適です。

LA SPORTIVA

バルディフィメ GTX

WT:約625g(25cm, 1/2足) サイズ:23.0cm~27.5cm



ニッピン特価

33,800円

上り、下りで差がつく **疲労軽減ソール!** **特許ソール** + **GORE-TEX**

IMPACT BRAKE SYSTEM

特許ソール
形状の異なるソールパターンがクッション性とグリップ力を向上させました。

上り・下りグリップカUP
ソール接地部分を斜めにカット。強力なグリップ力を実現。

衝撃吸収カUP
クッション効果下り関節の疲れを軽減。

疲労軽減 **20%**
履いて実感!

完全防水

W装備

タイフーンGTX
永く付き合えるレザーブーツ
重さ:約600g(1/2) サイズ:23cm~27cm **25,800円**

トランゴハイクGTX
名前はハイクでも性能はトレッキング仕様
重さ:約525g(1/2) サイズ:23.5cm~28cm **17,700円**

サンドストーンGTX
悪路でも丈夫で堅牢なローカットモデル
重さ:約425g(1/2) サイズ:23cm~28.5cm **14,800円**

山の“3種の神器”ザック・山靴・雨具は安心の専門店で!!

登山用品や
お得な情報満載! **WEB SHOP**もご利用ください

はじめての山登り
応援します!

割引クーポン、おトクな情報をお届けします。

ニッピン 検索

http://www.nippin.co.jp

パソコンから 携帯から

ニッピンは、
秋葉原に登山用品専門の
お店を構え、
おかげさまで62年。

秋葉原本店
OUTDOOR MIND
秋葉原ニッピン
〈営業時間〉
平日・土曜 11:00~19:30
日曜・祝日 11:00~19:00

本店 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-11-11 ☎03(3253)1431

神田小川町店 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2 ☎03(3233)4121

ALP K2®

ここ数年、登山ブームが続いております。
 市民ハイキングやバスツアー登山も盛況のようです。
 このところ遭難事故も多発しております。
 グループでの山行のためにも、あなた自身のためにも、
 今、動脈血の酸素量がどの位なのか、脈拍数はどの位なのか、
 正確な機械で測定してみてください。
 日本山岳協会創立50周年記念の際に特別提供した
パルスオキシメーターを埼玉県山岳連盟支援のために、
 更に特価でご提供致します。



季節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたらいかがでしょう。
 超特価でご提供できます。父の日、母の日、敬老の日、結婚式等、
 用途に応じて対応させていただきます。
 むろん山行に持参できる小型タイプもございます。



春休みや野外観察に本格的な聴診器はいかがでしょう。
 正直、樹木が水を吸い上げる音を聴くのは、難しいと思います。
 でも、色々な音が聴こえます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。
 樹はまるでパラポラアンテナのようにいろいろな音を集めます。
 ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。
 世界80数カ国に製品を輸出しております。



登山者必携
 パルスオキシメーター

- **パルスオキシメーター**
- **歩数計**
- **デジタル血圧計**
- **聴診器**
- **その他医療器全般**

ALP K2® 田中産業株式会社

本社
 113-0033 東京都文京区本郷3-16-3
 TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177
 Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
 取得致しております